

# SONY

Compact Players

## J Series



# Join the DV World

2001年、ベータカムなどSDの1/2インチテープのデスクトップコンパクトプレーヤーとして登場したJシリーズは、プロデューサーからジャーナリスト、プロダクションスタッフなど映像制作に関わる多くのユーザーに利用されています。洗練された機能により低価格を実現し、1/2インチテープの容易な再生や、素材検索、サーバーやノンリニア編集機へのフィーダーとしてなど、幅広い分野で活用されています。

そのデザインコンセプト・価格帯・基本性能を継承し、インターフェースを拡張した新しいJシリーズが生まれました。J-10・J-10SDI・J-30・J-30SDIの4機種をラインアップし、全ての機種にi.LINK\*1端子を標準搭載。

世界で約2億4000万巻\*2とも言われるSDの1/2インチテープに、DVの世界への扉が開かれます。

\*1 「i.LINK」は、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、は、i.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。「i.LINK」、は、商標です。  
i.LINKによる機器間の接続互換性については、それぞれの機器でご確認下さい。

\*2 2003年11月現在ソニー調べ

## J-10

希望小売価格819,000円  
(税抜価格780,000円)

## J-10SDI

希望小売価格966,000円  
(税抜価格920,000円)

## J-30

希望小売価格1,449,000円  
(税抜価格1,380,000円)

## J-30SDI

希望小売価格1,554,000円  
(税抜価格1,480,000円)



## Jシリーズの特長

### 場所をとらないコンパクトボディ

前モデルと同様、新しいJシリーズはコンパクトなボディサイズと軽量化を実現しています。サイズは標準的な小型デスクトップパソコン並の、307mm(W)×100mm(H)×397mm(D)、重さは約8kg。付属の縦置きスタンドを利用すれば、161mmの幅に設置することができ、スペース上の制約によって設置することができなかった場所にも手軽に置いてお使い頂けます。さらに、ライトメタリックカラーのデザインが、クリエイティブな制作環境を提供します。

### Sカセット・Lカセットの両方に対応

コンパクトなサイズながら、Sサイズ、Lサイズ両カセットの再生が可能です。

### NTSC/PALの切り替えが可能

NTSC(525/60)とPAL(625/50)の再生モードの切り替えが行えます\*3。海外で収録された素材の再生が可能となり、国際的な制作環境をサポートします。

### SDの1/2インチテープのシームレスな利用

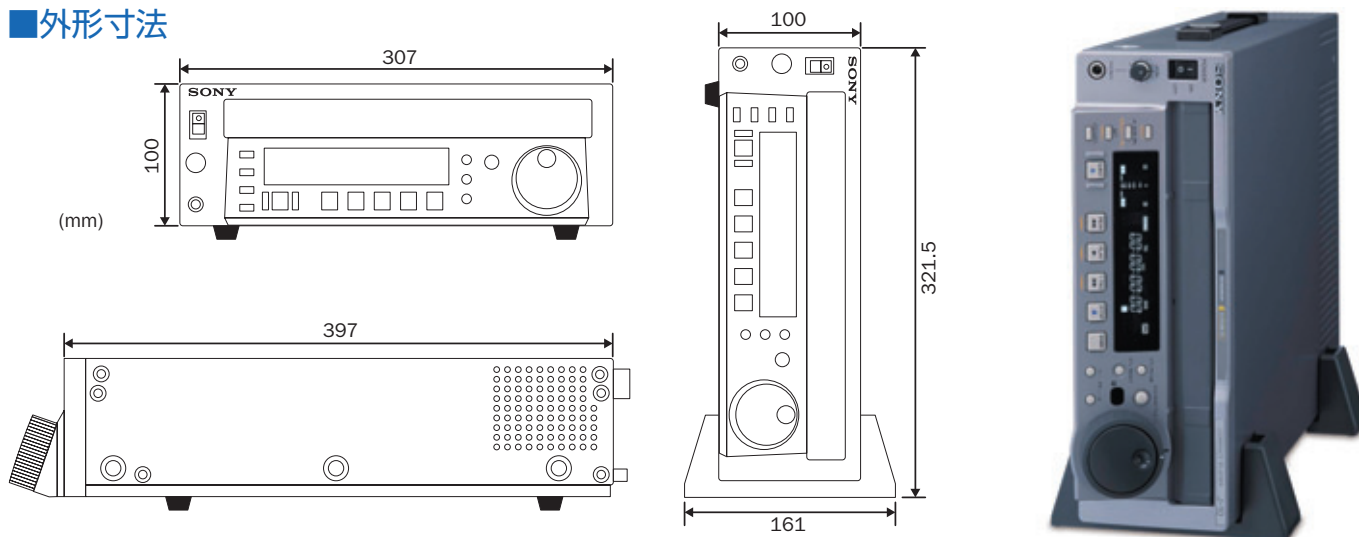
J-10、J-10SDIは、ベータカム・ベータカムSP・ベータカムSXテープの再生が可能です。

J-30、J-30SDIはこれに加え、デジタルベータカム、MPEG IMXの再生をサポートしています\*4。カセットを挿入すると記録フォーマットを自動判別するため、メニューやスイッチ操作は不要です。

\*3 NTSCとPALの変換機能はありません。それぞれに対応したモニターが必要です。

\*4 アナログテープの再生において、周波数特性のスペックなどはスタジオ機とは同等ではありません。また、記録トラックパターンが著しく乱れている場合などは、正常に再生されない場合があります。

### ■外形寸法



### ■再生フォーマット

J-10/J-10SDI



J-30/J-30SDI



# 拡張されたインターフェース

## 1 i.LINK端子を標準装備

i.LINK端子を標準装備しており、再生信号をDV信号に変換することが可能です。例えば、過去約20年間に渡って記録されてきたベータカムカセットでも、25MbpsのDV信号(映像・音声・タイムコード)に変換し、1本のi.LINKケーブルで接続されたDV機器へデータを送り込むことができます\*5。

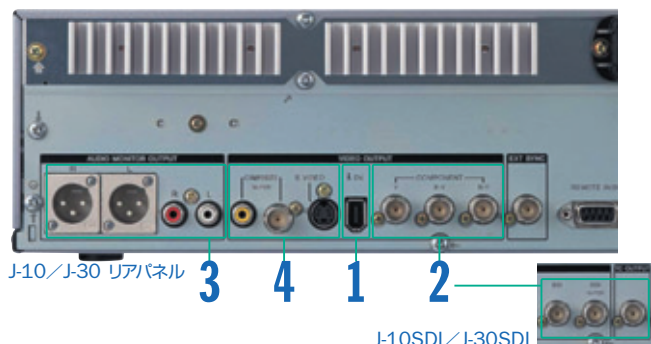
## 2 アナログコンポーネント出力モデルと、SDI出力モデルをラインアップ

使用環境に合わせてアナログコンポーネント出力モデルと、SDI出力モデルの選択が可能となっています。J-10とJ-30は1系統のアナログコンポーネント出力(BNC×3)を装備、J-10SDIとJ-30SDIは2系統のSDI出力端子を装備しています(うち1系統はスーパーインポーズのON/OFFが可能)。さらに、J-10SDIとJ-30SDIには1系統のタイムコード出力(BNC×1)を装備しています。

## 3 オーディオ出力

2chオーディオ出力が、リアパネルのXLRタイプ端子、ピン端子のどちらでも利用可能です。さらにフロントパネルにはヘッドフォンジャックも備えています。本体前面のオーディオモニター選択ボタンにより、端子から出力される音声チャンネルを選択することが可能です。

\*5 DVCAMと接続した場合、DVCAM機器のオートダビング機能、編集機能には対応していません。また、ノンリニアソフトウェアとの互換性の詳細については、ノンリニアソフトウェアメーカーにご確認下さい。



J-10SDI/J-30SDI

## 4 プレゼンテーションでの利用

付属の赤外線リモートコントローラーにより、基本機能(再生・停止・早送り・巻戻し・サーチ・イジェクト)がワイヤレスで行えます。プレゼンテーションやデモストレーション、イベント会場において、発表者やオペレーターが任意のタイミングで離れた場所から映像をコントロールすることができます。

### ■オーディオ出力

#### ■ベータカム/ベータカムSPフォーマット使用時

出力モード*	STEREO		MONO	
オーディオチャンネル	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-2	CH-2
3回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。		CH-1,2	CH-1,2
4回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。	

#### ■ベータカムSXフォーマット使用時

出力モード*	STEREO		MONO	
オーディオチャンネル	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
4回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
5回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。		CH-1,2	CH-1,2
6回押し			CH-3,4	CH-3,4
7回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。	

#### ■MPEG IMXフォーマット使用時(J-30/30SDI)

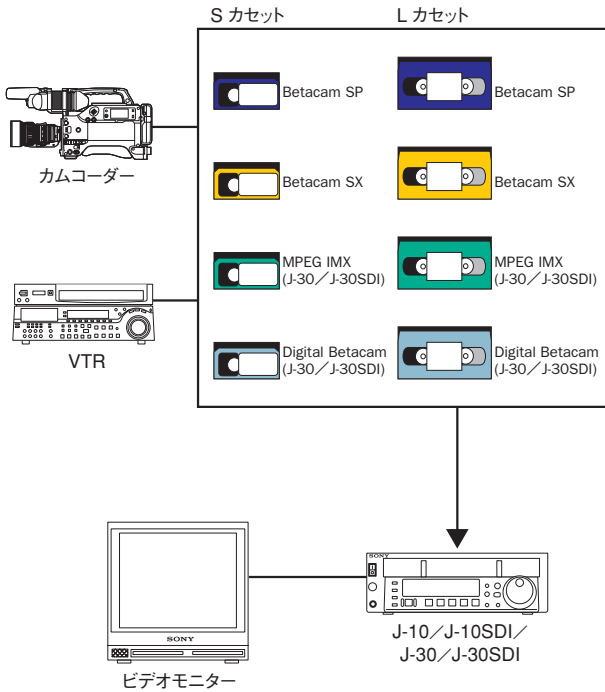
出力モード*	STEREO		MONO	
オーディオチャンネル	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-5	CH-6	CH-3	CH-3
4回押し	CH-7	CH-8	CH-4	CH-4
5回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-5	CH-5
6回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-6	CH-6
7回押し	CH-5,6	CH-5,6	CH-7	CH-7
8回押し	CH-7,8	CH-7,8	CH-8	CH-8
9回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。		CH-1,2	CH-1,2
10回押し			CH-3,4	CH-3,4
11回押し			CH-5,6	CH-5,6
12回押し			CH-7,8	CH-7,8
13回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。	

#### ■デジタルベータカムフォーマット使用時(J-30/30SDI)

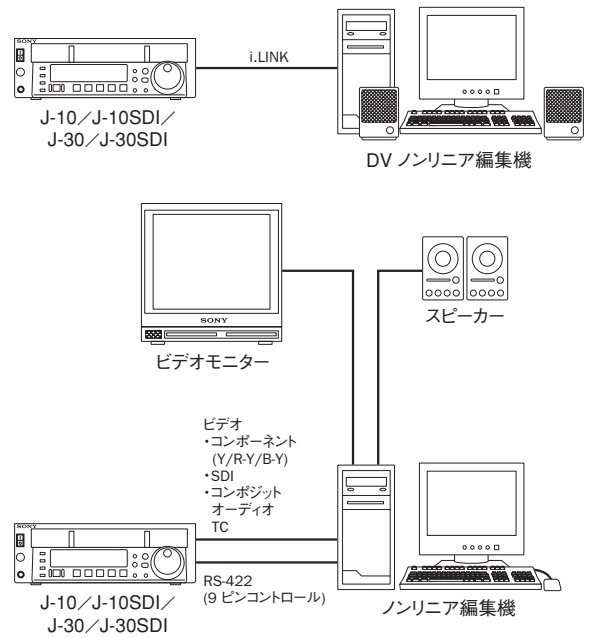
出力モード*	STEREO		MONO	
オーディオチャンネル	L	R	L	R
1回押し	CH-1	CH-2	CH-1	CH-1
2回押し	CH-3	CH-4	CH-2	CH-2
3回押し	CH-1,2	CH-1,2	CH-3	CH-3
4回押し	CH-3,4	CH-3,4	CH-4	CH-4
5回押し	CUE	CUE	CUE	CUE
6回押し	以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。		CH-1,2	CH-1,2
7回押し			CH-3,4	CH-3,4
8回押し			以降、押すたびに上記の順序で切り換ります。	

\*セットアップメニューの基本メニュー項目026で設定

■ ビューワーとして

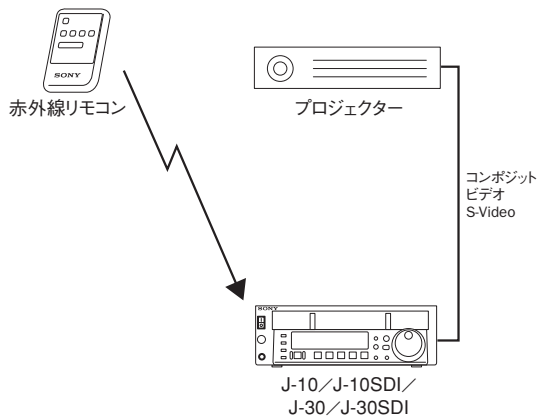


■ ノンリニア編集機へのフィーダーとして

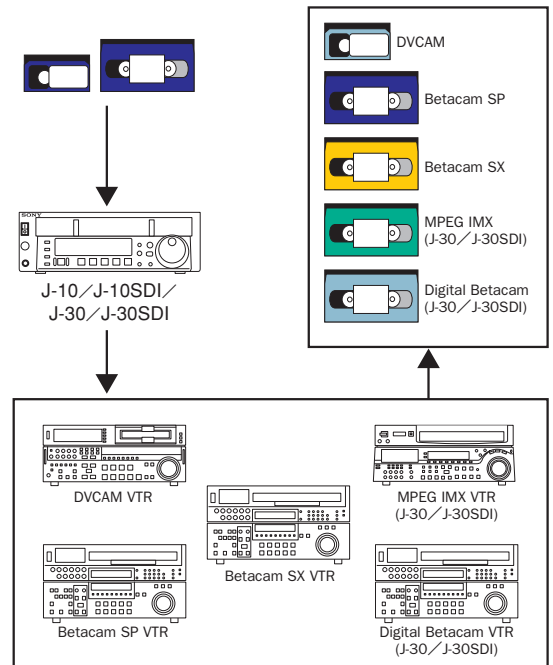


※本機に調相機能はありません。プリロール&プレイとなります。

■ プレゼンテーション(ワイヤレスコントロール)



■ 簡易ダビング



# SPECIFICATIONS

	J-10	J-10SDI	J-30	J-30SDI
<b>一般</b>				
電源	AC 100～240、50/60 Hz			
消費電力	55 W			
動作温度	5～40℃			
保存温度	-20～+60℃			
動作湿度	25～80%			
質量	8.1 kg		8.2 kg	
外形寸法	307(幅) x 100(高さ) x 397(奥行) mm			
<b>テープスピード</b>				
Digital Betacam	—	—	96.7 mm/s	
MPEG IMX	—	—	64.467 mm/s (525 モード) 53.776 mm/s (625 モード)	
Betacam SX	59.515 mm/s (525 モード)、59.575mm/s (625 モード)			
Betacam/Betacam SP	118.6 mm/s (525 モード)、101.5mm/s (625 モード)			
<b>再生時間</b>				
Digital Betacam	—	—	最大124分 BCT-D124L使用時	
MPEG IMX	—	—	最大184分 (525 モード) 最大220分 (625 モード) BCT-184MXL	
Betacam SX	最大194分 BCT-194SXLA使用時			
Betacam/Betacam SP	最大90分 (525 モード) / 108分 (625 モード) BCT-90MLA使用時			
<b>早送り/巻戻し時間</b>				
Digital Betacam	—	—	約5分 BCT-D124L使用時	
MPEG IMX	—	—	約5分 BCT-184MXL使用時	
Betacam SX	約5分 BCT-184SXLA使用時			
Betacam/Betacam SP	約5分 BCT-90MLA使用時			
<b>サーチスピード</b>				
Digital Betacam	—	—	±21倍速 (525 / 625 モード)	
MPEG IMX	—	—	±32倍速 (525 モード)、±38倍速 (625 モード)	
Betacam SX	±35倍速 (525 / 625 モード)			
Betacam/Betacam SP	±18倍速 (525 モード)、±20倍速 (625 モード)			
サーボロック時間	1.5秒以下 (スタンバイ状態から)			
取込/取外時間	7秒以下			
<b>入力</b>				
外部同期	フレームロック			
<b>出力</b>				
アナログコンポジット	BNC X1、ピンジャック X1			
S-Video	Mini DIN 4ピン X1			
アナログコンポーネント	BNC X3、Y/R-Y/B-Y	—	BNC X3、Y/R-Y/B-Y	—
SDI	—	BNC X2	—	BNC X2
i.LINK (DV)	6ピン X1、IEEE 1394			
タイムコード	—	BNC X1	—	BNC X1
モニターオーディオ	ピンジャック X2、XLRタイプ (オス) X2			
ヘッドホン	JM-60 ステレオフォンジャック			
<b>外部制御</b>				
RS-422A	D-sub 9ピン (メス) X1、ソニー9ピンリモートコントロール			
RS-232C	D-sub 9ピン (オス) X1			
ワイヤレス	SIRCS			
<b>付属品</b>	オペレーションマニュアル (CD-ROM)、オペレーションマニュアル、縦置きスタンド(1組)、赤外線リモコン、電源ケーブル			

## ⚠ 安全に関するご注意

商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- その他記載されている各社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記しておりません。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で、多少異なる場合もあります。

ソニービジネスソリューション サイト

sonybsc.com

本カタログは再生紙および環境に配慮した大豆インキを使用

※特定市場向け商品などソニービジネスソリューションサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

掲載の業務用商品およびソリューションに関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588
- FAX 0120-333-389
- 受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2010.4

カタログ記載内容2004年9月現在